

第2学年1組 英語科学習指導案

日時 令和3年2月9日(火)

場所 松江市立宍道中学校 多目的教室

指導者 教諭 福田 睦美

ALT Olena Imaoka

1 単元名 Unit7 The Movie Dolphin Tale (New Horizon English Course 2)

2 関係する学習指導要領における領域別目標

| | |
|-----------|---|
| 話すこと〔発表〕イ | 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができるようにする。 |
|-----------|---|

3 単元の目標

- 相手を意識しながら、積極的に自分の考えを伝えようとする。【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】
- 自分のことをよりよく知ってもらうために、自分の好きな人物やペットについて、簡単な語句や表現を用いて、相手にわかりやすく伝えることができる。【外国語表現の能力】
- 比較表現を用いた文の構造を理解する。【言語や文化についての知識・理解】
 - * 「聞くこと」「書くこと」「読むこと」の指導はするが、記録に残す評価は行わない。

4 単元の評価規準

| ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度 | イ 外国語表現の能力 | ウ 外国語理解の能力 | エ 言語や文化についての知識・理解 |
|--------------------------------|---|------------|----------------------|
| 相手を意識しながら、積極的に自分の考えを伝えようとしている。 | 自分のことをよりよく知ってもらうために、自分の好きな人物やペットについて、簡単な語句や表現を用いて、相手にわかりやすく伝えることができる。 | | 比較表現を用いた文の構造を理解している。 |

5 学習の基盤

(1) 教材について

本単元は、少年とイルカの絆を描いた実話に基づいて作られた映画「Dolphin Tale」を中心に構成されている。主人公である内気な少年が、命に関わるけがを負ったイルカと出会い、愛情をもって世話をしていくうちに、両者に生まれる種を超えた深いきずなを描いた作品である。主人公の少年は、そのイルカを助けたいという強い思いから、募金活動を思いつき、様々な人の協力を得ながら成功させる。その体験により内気な性格を克服し、成長していく姿が描かれている。「命を大切に作る心」「困難を克服しようとする勇気」「協力しながら問題を解決していく力」などさまざまなメッセージを読み取り、自分に反映していくことができる教材となっている。

また、文法事項として比較表現（比較級、最上級、as+原級+as等）を取り扱う。比較表現が使えるよう

になると、物や人を比較してイメージをより分かりやすく伝えることができるようになると思う。

(2) 生徒について

<個人情報保護のため省略>

(3) 指導にあたって

指導にあたっては、ペアワークの時間を設定し、自信が無い生徒も抵抗感なく英語を話せるように配慮したい。本単元では、比較表現（比較級、最上級、as+原級+asを含む文）を導入する。これらの表現は身近な表現ではあるが、複雑なルールで、比較級・最上級の語形変化や more, most のつけ方、また better, best などの不規則変化の形容詞や副詞については整理して分かりやすく提示する必要がある。そこで、語形を指導する際は電子黒板を使用し、様々な例を提示しながらパターンプラクティスで繰り返し練習したり、ペアでカードを互いに見せながら英文を言ったり、互いに質問したり答えたりすることより、比較表現の文法に慣れさせたい。

また、単元ゴールの活動では「自分が好きな人物やペット」について、友達に伝えさせたいと考えている。まとまった内容を表現することは、生徒にとっては負担が大きい。そのため、モデルを示したり、少しずつ内容をふくらませたりすることで生徒への負担を軽減し支援したい。スピーチを行う際には、聞いている相手がイメージしやすいように準備した画像を示しながら行わせる。ただ単に英文を覚えて話すのではなく、相手に理解してもらうためにはどのように伝えればよいかを考えさせ、やり取りする際に大切な点（大きな声ではっきり聞こえるように話す、相手の目を見る、リアクションなど）を意識させながら行わせたい。なお、伝える内容をより詳しくすることで、相手の理解度も高まることに気づかせ、友達とのやり取りを通して得た新情報をもとあったスピーチ文に追加（再構築）する活動を取り入れていく。

5 単元の指導計画と評価計画（全9時間 本時8/9）

| 時 | ◆目標 ○活動 | 評 価 | | | | |
|---|--|-----|---|---|---|--|
| | | 関 | 表 | 理 | 言 | 評価規準（方法） |
| 1 | ◆比較級(…er)、最上級(…est)の使用場面を理解することができる。 | | | | | |
| | ○単元のねらいを知る。（比較表現を使って自分の考えを相手に伝える。） ○教科書の内容を通して、比較表現の使い方を確認する。 | | | | | 記録に残す評価は行わない。 ただし、ねらいに即して生徒の活動の状況を確認に見届けて指導に生かすことは必ず行う。 |
| 2 | ◆比較級(…er)、最上級(…est)を使って、自分の考えを伝え合ったり、英文を書いたりすることができる。 | | | | | |
| | ○絵の内容について比較表現を使ってペアで伝え合う。 ○比較級(…er)、最上級(…est)の使い方をワークシートで確認し、絵の内容に表す英文を出きるだけたくさん書く。 | | | | | 記録に残す評価は行わない。 ただし、ねらいに即して生徒の活動の状況を確認に見届けて指導に生かすことは必ず行う。 |
| 3 | ◆比較級(more +～)、最上級(most +～)の使用場面を理解することができる。 | | | | | |
| | ○教科書の内容を通して、比較表現の使い方を確認する。 ○自分の好きなものについて、何かと比べながら伝え合う。 | | | | | 記録に残す評価は行わない。 ただし、ねらいに即して生徒の活動の状況を確認に見届けて指導に生かすことは必ず行う。 |

| | | | | | | |
|-------------|---|---|---|--|--|--|
| 4 | ◆比較級(more +～)、最上級(most +～)を使って、自分の考えを伝え合ったり、英文を書いたりすることができる。 | | | | | |
| | ○比較級(more +～)、最上級(most +～)を用いて、自分の考えをたずねたり答えたりする。 ○比較級(more +～)、最上級(most +～)の使い方をワークシートで確認し、自分の考えを書く。 | | | | | 記録に残す評価は行わない。 ただし、ねらいに即して生徒の活動の状況を確認に見届けて指導に生かすことは必ず行う。 |
| 5 | ◆映画のあらすじを読んで概要や要点を捉えることができる。 | | | | | |
| | ○比較級(better)、最上級(best)の使用場面を理解する。 ○自分の好きなものについて何かと比べながら話し合う。 ○教科書を読んで、必要な情報や概要、要点を捉え、音読練習をする。 | | | | | 記録に残す評価は行わない。 ただし、ねらいに即して生徒の活動の状況を確認に見届けて指導に生かすことは必ず行う。 |
| 6 | ◆自分の好きな人物について、比較表現を使ってまとまりのある英文を書くことができる。 | | | | | |
| | ○比較級(better)、最上級(best)を使って自分の好きな人物についてペアで伝え合う。 ○これまで学習した比較表現を使って自分の好きな人物やペットについてまとまりのある文を書く。 | | | | | 記録に残す評価は行わない。 ただし、ねらいに即して生徒の活動の状況を確認に見届けて指導に生かすことは必ず行う。 |
| 7 | ◆映画のあらすじの続きを読んで、概要や要点を捉えることができる。 | | | | | |
| | ○as+原級+asの特徴や使用場面を理解する。 ○教科書を読んで、必要な情報や概要、要点を捉え、音読練習をする。 | | | | | 記録に残す評価は行わない。 ただし、ねらいに即して生徒の活動の状況を確認に見届けて指導に生かすことは必ず行う。 |
| 8 本 時 | ◆自分のことをよりよく知ってもらうために、自分の好きな人物やペットについて、簡単な語句や表現を用いて、相手にわかりやすく伝えることができる。 | | | | | |
| | ○既習の比較表現の復習として、絵などを見ながら、質問をしたり答えたりする。 ○スピーチを通して、自分の好きな人物やペットを紹介し合ったり質問し合ったりした後、相手が質問してくれたことを取り入れながらスピーチ原稿を再構築する。 | ○ | ○ | | | 【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】相手を意識しながら、積極的に自分の考えを伝えようとしている。 【外国語表現の能力】自分のことをよりよく知ってもらうために、自分の好きな人物やペットについて、簡単な語句や表現を用いて、相手にわかりやすく伝えている。(行動観察) |
| 9 | ◆as+原級+asの使用場面を理解し、自分の考えを伝え合ったり、英文を書いたりすることができる。 | | | | | |
| | ○比較表現を使って自分の考えをペアで伝え合う。 ○as+原級+asの使い方をワークシートで確認する。 | | | | | 記録に残す評価は行わない。 ただし、ねらいに即して生徒の活動の状況を確認に見届けて指導に生かすことは必ず行う。 |

| | | | | | | |
|--------|--|---|---|--|---|---|
| 後 日 | ◆ALT に自分の好きな人物やペットについて説明したり、質問に答えたりすることができる。 | | | | | |
| | ○自分の好きな人物について ALT に自分の好きな人物やペットについて紹介する。 | ○ | ○ | | ○ | 【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】 相手を意識しながら、積極的に自分の考えを伝えようとしている。 |
| | | | | | | 【外国語表現の能力】 自分のことをよりよく知ってもらうために、自分の好きな人物やペットについて、簡単な語句や表現を用いて、相手にわかりやすく伝えている。(パフォーマンステスト) |
| | | | | | | 【言語や文化についての知識・理解】 比較表現、as+原級+as などを用いた文の構造を理解している。 |

6 本時の学習

(1) 本時のねらい

○自分のことをよりよく知ってもらうために、自分の好きな人物やペットについて、簡単な語句や表現を用いて、相手にわかりやすく伝えることができる。【外国語表現の能力】

(2) 本時の展開

| 学習活動 | 教師の活動と支援、評価 (☆) | |
|--|---|-----|
| | JTE | ALT |
| ○あいさつ ○既習の比較表現の復習 ・絵やキーワードを見ながら、既習の比較表現を使って、ペアで質問したり、答えたりする。 | ・うまく言えない生徒に関しては、教師が寄り添い、ペアにヒントを与えるよう促す。 | |

○本時のめあてを確認する。

自分の好きな人物やペットについて、相手によりわかるように伝えよう。

・相手によりわかるように伝えるにはどうしたらよいか考える。

○言語活動①（発表⇒やり取り）

・自分が好きな人物やペットについて、画像を提示しながら伝え方を工夫したり、内容について質問をしたり答えたりする。

○中間評価①

・めあてについて工夫したことを自己評価する。（挙手）
・相手によりわかるように伝えるための新たな方法について気づく。
・質問されて答えたことを、元のスピーチの中に組み入れる。

○言語活動②（発表⇒やり取り）

・別のペアと発表（再構築）とやり取りを行う。

○中間評価②

・困った表現はなかったか出合う。
・再度質問されて答えたことを、スピーチの中に組み入れる。

○言語活動③（発表⇒やり取り）

・最初のペアに再構築したものを伝える。

○代表の生徒の発表を聞く。

○振り返り

・良いモデル(教師による demonstration)を提示し、やり取りする際には、「はっきりと聞こえるように話す」「相手を見て話す」「リアクションしながら聞く」など伝え方が大切であることに気づかせる。

・質問することが難しい生徒にはキーワードを参考にするよう促す。

・教師による demonstration（発表⇒やり取り⇒発表内容を膨らせる）を見せ、内容をより詳しくして伝えることも、相手によりわかるように伝える工夫の一つであることに気づかせる。

・付箋に質問されて答えたことを書き、スピーチ文の入れたいところに貼らせる。（内容を整理させるために行うのであって、これを見ながら発表させるものではない。）

・英語で書くのが難しい生徒に関しては、キーワードをメモさせる。

・付箋に質問されて答えたことを書き、スピーチ文の入れたいところに貼らせる。（内容を整理させるために行うのであって、これを見ながら発表させるものではない。）

・英語で書くのが難しい生徒に関しては、キーワードをメモさせる。

☆自分のことをよりよく知ってもらうために、自分の好きな人物やペットについて、簡単な語句や表現を用いて相手にわかりやすく伝えている。（行動観察）

(3) 本時の具体的な評価

| 十分満足できると判断される生徒の具体例 | おおむね満足できると判断される生徒の具体例 | 支援が必要な生徒への手立て |
|--|---|--|
| <p>○相手に伝わるように、伝え方(クリアーボイス、アイコンタクトなど)を工夫したり、内容を再構築(複数)して発表している。</p> <p>This is my cousin, Ken. He lives in Osaka. He is older than I. <u>He is seventeen years old.</u> <u>He is the tallest in his family.</u> He has a cute dog. <u>Its name is Nana.</u> He likes dogs the best of all animals.</p> <p>* 下線部⇒新情報(追加)</p> | <p>○相手に伝わるように、伝え方(クリアーボイス、アイコンタクトなど)を工夫したり、内容を再構築(1文程度)して発表している。</p> <p>This is my cousin, Ken. He lives in Osaka. He is older than I. <u>He is seventeen years old.</u> He has a cute dog. He likes dogs the best of all animals.</p> <p>* 下線部⇒新情報(追加)</p> | <p>○やり取りしたり、発表を再構築することが難しい生徒には、教師が寄り添ったり、ペアの生徒にサポートするよう促したりする。</p> |